



1 対象となる幼児児童生徒  
小学部児童（肢体不自由、知的障害、重複）

2 教材を使用する活動  
自立活動での手指訓練、遊びの指導

3 ねらい  
児童が持ちやすいような形や太さを工夫し、手で握って筆を動かしたりスタンプをポンポンとたたいたりして色をつけることができる。鮮やかな色に気付いたり、ポンポンとたたいたりする活動を楽しむことができる。

教材の使い方	配慮点
<p>○テープを巻いた持ち手の部分を持ち、絵の具などをつけて、筆のように使用する。</p> <p>○手の力に関係なく、紙に色をつけたり、様々な模様をつけたりすることができる。</p>  <p>○市販の筆や刷毛に布を巻いて輪ゴムで固定している。持ち手の太さを変えた筆などを使用し、絵の具などをつけてポンポンとスタンプのように使用する。</p> 	<p>○ぞうきん筆をしようする時の姿勢や机の高さなど、環境設定に配慮する。言葉かけをしながら、楽しい雰囲気での学習できるようにする。</p> <p>○児童が意欲的に取り組むことができるように、いろいろな絵の具の色を用意する。</p> <p>○和紙を使用すると、色がつきやすい。</p> 